

DET（障害平等研修）について

1 概 要

渋川市は、社会にある障害、差別、偏見をなくし、全ての人々が暮らしやすい共生社会の実現へ向け、心のバリアフリーを促進します。その理解促進に向けて多く用いられる「障害平等研修（DET研修）」を令和2年度から実施しています。

この研修は、障害のある人自身がファシリテーター（進行役）となり、ファシリテーターとの対話やグループワーク、視覚教材を活用して学ぶ、発見型の研修です。社会の中にある様々な障害を見抜く力を養い、「障害は個人の問題」という意識から「障害は周りの環境を皆で変えていくことにより解決していく問題」という意識への変革を図り、社会の中のバリアを解除するための行動に繋げることを目的としています。

令和2年度は、市職員や市民等を対象として実施し、令和3～4年度は、教育の一環として、市内中学校を中心に実施しました。

2 市内中学校における実績

（1）令和3年度

市内中学校9校のうち、3校が実施しました。

No.	日 時	対 象	参加人数
1	8月31日（火）	渋川中学校2年生	95名
2	11月4日（木）	伊香保中学校1年生	13名
3	11月30日（火）	赤城南中学校全校生徒	101名

（2）令和4年度

市内中学校9校のうち、7校が実施しました。

No.	日 時	対 象	参加人数
1	9月8日（木）	渋川中学校2年生	98名
2	6月24日（金）	金島中学校全校生徒	108名
3	7月13日（水）	古巻中学校3年生	107名
4	10月27日（木）	伊香保中学校1年生	8名
5	9月16日（金）	子持中学校3年生	95名
6	11月24日（木）	赤城北中学校1年生	17名
7	12月7日（水）	北橘中学校1年生	69名

3 生徒の感想（一部抜粋）

- ・ 心のバリアフリーセミナーを受けてみて、もっと障害を持った人たちが住みやすい社会に私たちが変えていかなくてはいけないと思った。
- ・ 今までの障害に対して持っていたイメージががらりと変わり、自分にできることはないか、考えさせるきっかけになった。障害はその人にあるのではなく、周りの環境や人の対応など様々なことが関わっていることがわかった。研修を通して、障害で困っている人のために動いてみたいと思った。
- ・ 今回の学習を通して、障害者にも優しい社会を作りたいと感じた。また、障害を持っている人が変わるのではなく、社会が変わるように自分ができることを探して生活したいと思った。
- ・ この研修がなかったら障害者や障害のことについてよく知らずに考え方も変わらなかったと思うから、とても良い経験になった。この研修で気持ちや考え方が変わった人も結構いると思うから、これからもこの研修を続けていってほしいと思った。

4 実施の様子



（金島中学校）



（古巻中学校）



（赤城北中学校）



（北橘中学校）

5 今後の取組

令和5年度は、市内中学校5校（渋川中学校、金島中学校、古巻中学校、伊香保中学校、北橘中学校）で実施する予定です。